

伊勢湾の水質改善

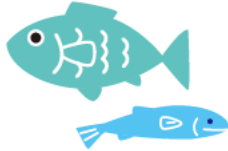
中村 欣一郎 議員
(自民みらい/鳥羽市選出)



問 県は伊勢湾と運命を共にすることになると思いますが、漁業者からは水産業の行く末を不安視する声が寄せられています。

漁場の衰退は、漁業という産業はもちろんのこと、漁村というコミュニティの衰退を招き、ひいては消滅の心配すらあります。伊勢湾の将来を見据え、その水質や環境に対する知事の考えをお聞かせください。

答 伊勢湾は本県のかげがの恵みをいかに次代に引き継ぐかが課題です。流入汚濁物質の削減や藻場・干潟の再生など、水質改善に向けた中長期的な取り組みを継続するとともに、行政だけでなく県民との協創による伊勢湾再生に向け、機運醸成などのサポートも行っています。



その他の質問事項
○屋外広告物と三重県の観光戦略 ほか

「三重の米戦略」の見直し

館 直人 議員
(新政みえ/三重郡選出)



問 「三重の米（水田農業）戦略」は平成16年に策定されてから、一度も検証や見直しがされていません。戦略には取り組むべき課題などが詳細に明記されておられ、「もうかる農業」の実現には、これらの検証が不可欠と考えますが、戦略を見直す考えはありますか。また、見直した戦略の中で、県で開発した米の新品種「三重23号」をどのように生かしていくのかについても伺います。



米の新品種「三重23号」

答 水田農業を取り巻く状況変化を踏まえ、高付加価値化や6次産業化などを視点に「もうかる水田農業」への改革をめざし、本年度中に新しい「三重の米戦略」を策定したいと考えています。また、品質や味の良い「三重23号」を新戦略の柱として位置づけ、関係者が一体となりブランド化に向けた取り組みを進めます。

その他の質問事項
○伊勢湾における汚濁負荷の抑制と再生 ほか

名張地域の高等学校のビジョン

中森 博文 議員
(自民みらい/名張市選出)



問 名張高校は障がいを持つ生徒が県立高校で学べるインクルーシブ教育を導入し、普通科高校2校については、地域に開かれ信頼される高校を目指し特進クラスを設け、大学受験に対応する高校として統合するとともに、もう1校の方は中高一貫校の新設を提案します。県の高等学校教育の活性化にもつながるこれらの取り組みについて、知事の考えをお伺いします。

答 県内に魅力的な学ぶ場があることは、若者の流出を止め、流入を促すためにも重要なことであり、中高一貫校も選択肢の一つであると考えます。今後は、委員構成や進め方などについても地域の方々を十分相談した上で地域協議会を開催し、統合の時期も含め、名張地域の学校の新しいビジョンについて議論していきます。



その他の質問事項
○日台友好交流 ほか

もうかる農林水産業の実現

藤田 宣三 議員
(新政みえ/鈴鹿市選出)



問 みえ県民力ビジョンでは、「もうかる農林水産業」への転換を目指し、生産者、食品産業事業者、大学、行政などが知恵や技術を結集し融合することにより、新商品やサービスを革新的に生み出す「みえフードイノベーション」に取り組みむとしています。県の研究所がその「種」となる研究成果を生み出すことが重要です。今後どのような研究開発に取り組みますか。



トマト収穫ロボット

答 新たに、植物工場を活用した外食事業者などのニーズに対応できる農産物の生産技術や伊勢茶による機能性商品の開発、高品質な「三重アサリ」の生産技術の開発や商品化に取り組みます。その研究成果を生産者などに移転し、新たな商品の販売に結びつけることで、「もうかる農林水産業」の実現につなげていきたいと考えています。

その他の質問事項
○三重県営業本部 ほか